

巻 頭 言

大学創立から50年が経過した。この間、わが国の経済情勢は大きく変化し、大学への期待も変化した。多くの教員の参加を得て企画された50周年記念号は、この大きな節目に、新たな一歩を踏み出すためにハーケンを打ち込むという気概の表れであり、心から敬意を表したい。

バブル経済崩壊後、20数年間、わが国の経済は一度も自信を取り戻すことなく、それに追い打ちをかけるように、人口減少時代に入った。また、国の財政は先進国の中で最悪の状況にあり、これから社会に旅立つ若者たちの大きな不安となっている。彼らに課題に立ち向かう力、活路を切り開くための創造力を与えることが、大学の大きな使命となっているのではないだろうか。

教員は、次代を担う若者たちに生きる力を与えるために、研究の幅を広げ、またそれを深化させ、教育を通してその果実を積極的に還元しなければならない。教員の研究・教育姿勢は、教員が将来にどのような問題意識を持っているかにも影響されるが、このことを若者たちはしっかりと見ていることを忘れてはならない。

すでに成熟期にある私たちの次の選択肢は、「生まれ変わる」ということではないだろうか。本記念号がその第一歩となることを祈念し、発刊の辞としたい。

2016年3月

城西大学経済学会会長 玉 城 逸 彦